

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成20年2月7日(2008.2.7)

【公開番号】特開2001-183550(P2001-183550A)

【公開日】平成13年7月6日(2001.7.6)

【出願番号】特願2000-384309(P2000-384309)

【国際特許分類】

G 0 2 B 6/40 (2006.01)

【 F I 】

G 0 2 B 6/40

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月18日(2007.12.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 少なくとも部分的にあらかじめ組み立てられたマルチファイバ型コネクタであって、長手方向内部キャビティを備えたコネクタハウジングと、互いに反対側に位置した前面及び後面との間に長手方向に延びていて、前面を貫通して開口した複数の光ファイバ用ボアを備えた窓無しマルチファイバ型フェルールとを有し、前記フェルールは、複数の側面を有し、各側面の少なくとも一部は、前記フェルールの横断面が実質的に矩形であるように平らであり、前記フェルールの各側面は、光ファイバ用ボアに通じる窓が無いように連続した表面であり、前記窓無しマルチファイバ型フェルールは、前記コネクタハウジングによって形成された内部キャビティ内に少なくとも一部が配置されていて、それにより、光ファイバが設けられていないマルチファイバ型コネクタを形成し、マルチファイバ型コネクタは、光ファイバ用ボア内への複数の光ファイバの挿入に先立って予備組立て可能であることを特徴とする予備組立てマルチファイバ型コネクタ。

【請求項 2】 前記フェルールは、前記後面を貫通して開口していて、複数の光ファイバ用ボアと連通した内部キャビティを備え、前記フェルールは、前記フェルールの後面から前記フェルールの前面に向かう長手方向に内方にテーパし、それにより、コネクタの予備組立てに続いて行われる光ファイバ用ボア内への複数の光ファイバの挿入を容易にする内部キャビティを備えていることを特徴とする請求項 1 記載の予備組立てマルチファイバ型コネクタ。

【請求項 3】 前記フェルールは、前記フェルールの後面から前記フェルールの前面に向かう長手方向に細まっている段付き形態を有する内部キャビティを備えていることを特徴とする請求項 2 記載の予備組立てマルチファイバ型コネクタ。

【請求項 4】 光ファイバ用ボア内への複数の光ファイバの挿入に先立って、前記コネクタハウジングに作動的に連結される圧着本体を更に有することを特徴とする請求項 1 記載の予備組立てマルチファイバ型コネクタ。

【請求項 5】 光ファイバ用ボア内への複数の光ファイバの挿入に先立って、前記圧着本体と前記フェルールとの間で前記コネクタハウジングによって形成されている内部キャビティ内に配置されたばねを更に有し、前記ばねは、前記フェルールの前記コネクタハウジングに対して前方に押圧していることを特徴とする請求項 4 記載の予備組立てマルチファイバ型コネクタ。

【請求項 6】 前記ばねを長手方向に貫通して延びていて、光ファイバ用ボア内への複数の光ファイバの挿入に先立って、前記フェルールの後面に近いところに配置された一

端を備える引き込みチューブを更に有し、前記引き込みチューブは、コネクタの予備組立て後に行われる光ファイバ用ボア内への複数の光ファイバの挿入を容易にすることを特徴とする請求項 5 記載の予備組立てマルチファイバ型コネクタ。

【請求項 7】 窓無し形態から窓付き形態に選択的に変換できるフェルールであって、互いに反対側に位置した前面と後面との間で長手方向に延びていて、前面を貫通して開口した少なくとも 1 つの光ファイバ用ボアを備えるフェルール本体を有し、前記フェルール本体は、少なくとも 1 つの側面を有し、前記側面は、これを貫通して延びる穴を備え、前記フェルール本体は、前記穴を少なくとも部分的に覆ってフェルールの窓無し形態を構成する着脱自在なウェブを更に有し、前記ウェブは、前記穴から選択的に取り外すことができ、覆いとしてのウェブが取り出された穴は、フェルールの側面を貫通していて、少なくとも 1 つの光ファイバ用ボア内に開口し、それによりフェルールの窓付き形態を構成する窓を形成するようになっていることを特徴とするフェルール。

【請求項 8】 前記着脱自在のウェブは、穴を完全に覆っていることを特徴とする請求項 7 記載のフェルール。

【請求項 9】 前記着脱自在なウェブは、本体部分及び前記本体部分を前記フェルール本体の残部に連結する縁部を有し、縁部は、前記穴からの前記ウェブの選択的な取り外しを容易にするよう本体部分よりも薄いことを特徴とする請求項 7 記載のフェルール。

【請求項 10】 前記着脱自在なウェブは、少なくとも 1 つの光ファイバ用ボアに近いところで前記穴の底部内に設けられていることを特徴とする請求項 7 記載のフェルール。

【請求項 11】 前記フェルール本体は、複数の光ファイバ用ボアを備え、前記穴は、窓付き形態では複数の光ファイバ用ボアの各々の中に開口することを特徴とする請求項 7 記載のフェルール。

【請求項 12】 前記フェルール本体は、複数の側面を有し、各側面の少なくとも一部は、フェルールの横断面が実質的に矩形であるように平らであることを特徴とする請求項 7 記載のフェルール。

【手続補正 2】

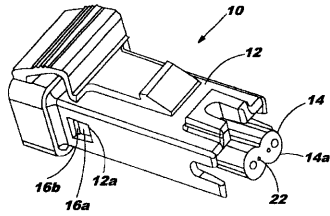
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】全図

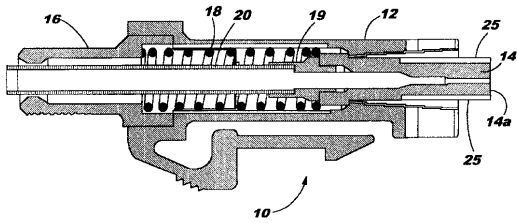
【補正方法】変更

【補正の内容】

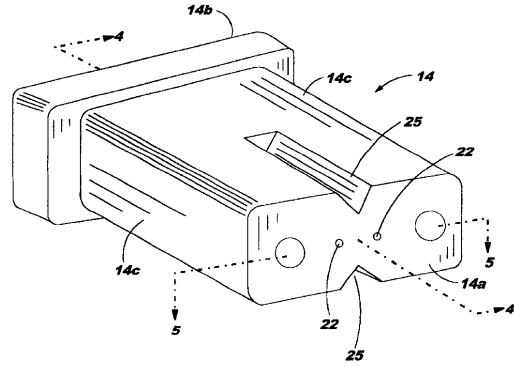
【図 1】



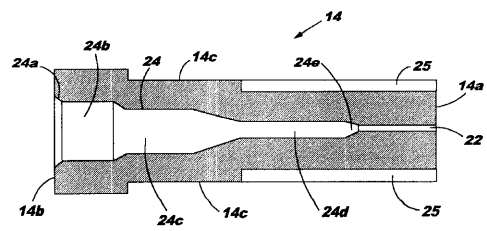
【図 2】



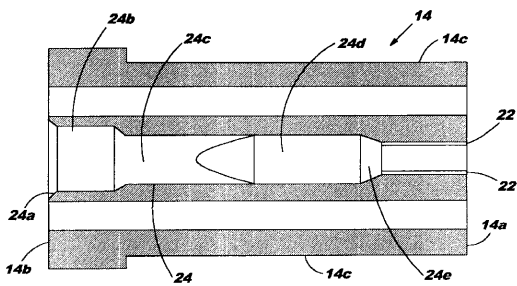
【図 3】



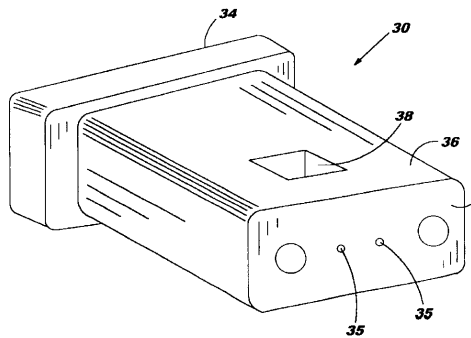
【図 4】



【図 5】



【図 6】



【図 7】

